

保健医療ソーシャルワーク特論演習 評価ルーブリック(保健福祉学研究科 保健福祉学専攻)

評価項目	S～A(33～27点)	B(26～24点)	C(23～20点)	D(1つでも該当すると不合格)
ソーシャルワークならびにその周辺領域の理論モデルを概観し、クライアントに起きている現象を理解するための知識を習得できる(A-1)。	教員の助言を参考に、ソーシャルワークならびにその周辺領域の理論モデルを概観し、クライアントに起きている現象を理解するための知識を習得できる。	教員の指導の下、ソーシャルワークならびにその周辺領域の理論モデルを概観し、クライアントに起きている現象を理解するための知識を習得できる。	教員の手厚い指導の下、ソーシャルワークならびにその周辺領域の理論モデルを概観し、クライアントに起きている現象を理解するための知識を習得できる。	ソーシャルワークならびにその周辺領域の理論モデルを概観し、クライアントに起きている現象を理解するための知識を習得することができない。
クライアント・システムに起きている現象を科学的に解説し、評価方法を検討できる(A-1)。	教員の助言を参考に、クライアント・システムに起きている現象を科学的に解説し、評価方法を検討できる。	教員の指導の下、クライアント・システムに起きている現象を科学的に解説し、評価方法を検討できる。	教員の手厚い指導の下、クライアント・システムに起きている現象を科学的に解説し、評価方法を検討できる。	クライアント・システムに起きている現象を科学的に解説し、評価方法を検討することができない。
クライアント・システムに起きている現象を科学的に評価し、介入方法を検討できる(A-1)。	教員の助言を参考に、クライアント・システムに起きている現象を科学的に評価し、介入方法を検討できる。	教員の指導の下、クライアント・システムに起きている現象を科学的に評価し、介入方法を検討できる。	教員の手厚い指導の下、クライアント・システムに起きている現象を科学的に評価し、介入方法を検討できる。	クライアント・システムに起きている現象を科学的に評価し、介入方法を検討することができない。

※評価は、評価項目についてそれぞれ「S～A:33～27点」「B:26～24点」「C:23～20点」とし、「D」は1つでも該当した場合は不合格となる。

※評価項目内の(A-1)は、ディプロマポリシーと対応する項目を指す。